

# ニュー・パブリック・マネジメント ～民間の経営戦略に学ぶ～

## ○講座のねらい

厳しい財政状況の中で公共サービスに対する需要の増大化・多様化に対応するため、新しい行政手法として「民間企業の経営理念や手法を応用することで、行政の効率化や活性化を図ろうとする考え方(ニュー・パブリック・マネジメント論)」について理解を深め、民間企業の経営戦略の考え方やNPMによるマネジメントツールについて学びながら、これからの行政のあり方等について考える。

## ○対象者

受講を希望する職員

## ○日 程

令和5年 1月12日(木) 1日間

## ○会 場

自治研修センター(午前9時40分までに集合)

## ○予定人員

30名

## ○カリキュラム

## ○講 師

(株)インソース  
瀬尾 敏彦



午 前	午 後
(9:50~10:00) ・オリエンテーション	(13:00~16:00) ・民間企業の財務活動 ・民間企業の業務改善 ・民間企業のリスクマネジメント ・自分の職場を考える
(10:00~12:00) ・地方自治体を取り巻く環境変化 ～NPMの導入 ・仕事の仕方 ～自治体と民間との共通点・相違点 ・民間企業の置かれた環境と対応 ・民間企業の経営	(16:00~) ・閉講

## 【令和2年度受講生のアンケートから】

※令和3年度は研修を中止したため、前年度分を掲載

- 民間の経営手法を取り入れることで、普段行っている業務の効率化や活性化を図ることを期待し受講した。
- 日本は豊かな地域であり先進国だと思っていたが、技術革新に後れをとっており危機的状況にあるとわかった。私の自治体も様々な面で後れをとっており厳しい状況である。現状に満足せず、常に変わっていく世の中に対応できるようにアンテナを張り意識改革をしていきたい。
- 今までの考え方も大切であるが、時代の流れに合わせて仕事の取組み方も変えながら進めることが重要だと感じた。